



7月15日 きこり三樹士と木工教室

【中部森林管理局 技術普及課】

7月15日（火曜日）長野県千曲市立五加小学校5年生を対象とした木工教室を実施しました。

千曲市の大池自然の家においてキャンプを行っていた生徒のみなさんに、森林や木材に親しんでいただくため、まずはパネル等を用いて、木を植えて伐採するまで長期間を要する林業や木材の利用についての話をしました。

次に、管内を代表する三種類の造林樹種であるスギ・ヒノキ・カラマツについて知っていただくため、当局のきこり三樹士であるスギー、ひーのん、カラマッキーを使って、樹種あてクイズを行いました。

先生方にご協力いただき、それぞれの樹種の特徴を全面に押し出したキャラを演じながら「まっすぐのびる」「香りがよい」「季節ごとに葉の色が変わる」というヒントを読み上げてもらいました。

スギとヒノキについては、みなさんご存じでしたが、カラマツはイチョウとの回答が多く、残念ながら当ててはいただけませんでした。長野県を代表するカラマツの知名度が上がるよう努力をしていきたいと思います。



職員も押さえるのをお手伝い



先生方に「きこり三樹士」を熱演していただきました



集中力がみなぎっています

続いて、岐阜県産スギ材でできた木片キットをネジで固定するミニ椅子づくりをしました。使用する木材は、先ほど紹介した3種類のうちのどれかで、最後に発表するので木の手触りや香りなどを感じながら組み立て作業に取り組んでくださいと伝え、作業を開始しました。

時間に余裕を持たせたつもりですが、使い慣れないドライバーでの作業に悪戦苦闘しながら、生徒同士で材を押さえ合ったり、曲がった板を固定し直したり、「手が疲れた～」と小休止したり、時間ギリギリまで作業していました。

それぞれ組み立て終わつたミニ椅子には、カラフルなペンで名前や絵を描くなど、児童一人ひとりの個性があふれるミニ椅子が出来上りました。



出来上がったミニ椅子（一部）

最後に、ミニ椅子の木材だと思う樹種に手を挙げてもらったところ、ヒノキに多くの票が集まりました。作業中、木のよい香りを感じたのかも知れません。楽しかったキャンプとともに、今回の出会いや体験を思い出してもらえたなら嬉しいです。